

## 系統連系および系統の利用に関する優先・優遇

再生可能エネルギー電力の価格面での優遇と並んで、系統連系および系統の利用に関する優先・優遇の有無も重要な要素である。表に、系統連系に関して重要な要素と考えられる、優先接続の有無、初期接続費用、系統増強費用、および周波数変動への対応と負担の4点について、ドイツ、英国、日本の比較を示した。

この比較から、系統連系および系統の利用においても総じて自然エネルギー事業者を優遇するドイツと、相対的に厳しい英国や日本との対比が顕著である。とりわけ日本では、発電事業者がすべての費用負担をしているだけでなく、系統連系の可否そのものが電力会社の裁量に委ねられていることで、事業の開発リスクを増大させている。電力価格に優遇するのであれば、系統連系に関しても一定の優遇をしなければ、制度としての整合性に欠けるのではないか。

風力発電の系統連系に関わる優遇制度の分類

系統に関わる措置	ドイツ	英国	日本
初期設置時 ・ 優先接続の有無  ・ 初期接続負担 ・ 系統の増強費用	・ 法定により優先接続義務  ・ 発電事業者 ・ 系統運用者(電気料金に転嫁)	・ 法定により接続義務 (他の電源と同等) ・ 発電事業者(D 接続料金) ・ 発電事業者(D 接続料金)	・ 電力会社との連系協議次第  ・ 発電者負担(原因者負担) ・ 発電者負担(原因者負担)
運転時 ・ 周波数変動	・ インバランス決済免除	・ 当初：インバランス決済の適用 (他の電源と同等) ・ 後に、修正対応	・ 未検討。ただし、北海道電力は独自試算に基づく導入制約
参考： 価格優遇(表1)	・ 固定価格優遇制度 ・ 追加費用は再配分で平準化	・ RPS	・ 政府の設置補助金 ・ RPS ・ 自主的購入メニュー
その他			・ 電力会社による導入枠と入札